



群馬パース学園短期大学 学園だより



— 学園だより創刊にあたって —

念ずれば花ひらく

理事長 樋口 建介



学校法人 群馬パース学園
〒377-0702 吾妻郡高山村中山6859-251
TEL 0279-63-3366(代)
FAX 0279-63-3477

平成14年4月6日(土)、群馬パース学園短期大学は、看護学科85名、理学療法学科44名、地域看護学専攻科24名の第5回入学式を挙行致しました。

大学づくりは大変難しい。大学づくりに要したエネルギーは、私にとつて想像以上のものであり「やった者でなければわからない」これが正直な気持ちであります。

昭和52年に特別養護老人ホーム「川場春光園」を建設し、翌53年に「ほたか病院」を開設して以来、一貫して地域に根差した福祉・医療を最重点に取り組み、有料老人ホーム、老人保健施設、軽費老人ホームケアハウス、診療所、グループホーム等々を開設してまいりました。

その中で、老人福祉・医療に携わる者として、今日の高齢化、情報化社会の中で、特に重要な役割を担う、福祉や看護に携わる人間養成が今後、どれ程求められるかは想像するまでもない。私は福祉・医療・保健の現場の中から、必要に迫られ介護福祉士養成校を開校致しました。

そして、さらに新しい知識や技術に裏付けられた質の高い人材育成を目指して、「群馬パース看護短期大学」を平成10年4月に開設致しました。(申請に要した64冊の書類を目の前にして、大変さと難しさを痛感しました。)

平成12年、大学敷地内に「美郷医学研究所」を開設し、実践と研究の場として施設内に診療所、通所リハビリテーション、痴呆対応型共同生活介護住宅を設け、地域医療・福祉サービスを提供してまいりました。

今後、7年間の中で、教育・研究・保健・医療・福祉の充実を計り、平成17年春に4年制大学「パース学園大学」に改組し、平成21年春に「パース学園大学院」を開学させたいと準備を進めております。

このたび、群馬パース学園短期大学が、草創期に「学園だより」を発行することは、誠に喜ばしいことです。

群馬パース学園短期大学を支援する「ほたか会」は6年後に迎える30周年に向かって、群馬パース学園とともに「念ずれば花開く」ことを信じ、未来に大きな「夢」と「希望」を持って進むことを決意する次第であります。

これからも皆様のご支援ご協力をお願い申し上げますとともに、新聞発行のご挨拶と致します。

平成12年、大学敷地内に「美郷医学研究所」を開設し、実践と研究の場として施設内に診療所、通所リハビリテーション、痴呆対応型共同生活介護住宅を設け、地域医療・福祉サービスを提供してまいりました。

今後、7年間の中で、教育・研究・保健・医療・福祉の充実を計り、平成17年春に4年制大学「パース学園大学」に改組し、平成21年春に「パース学園大学院」を開学させたいと準備を進めております。

このたび、群馬パース学園短期大学が、草創期に「学園だより」を発行することは、誠に喜ばしいことです。

群馬パース学園短期大学を支援する「ほたか会」は6年後に迎える30周年に向かって、群馬パース学園とともに「念ずれば花開く」ことを信じ、未来に大きな「夢」と「希望」を持って進むことを決意する次第であります。

これからも皆様のご支援ご協力をお願い申し上げますとともに、新聞発行のご挨拶と致します。



学園だより発刊によせて

学長 岡田了三

バス学園短期大学は前身の群馬バス看護短期大学が平成10年に開学してから、3年目の昨年に第1回卒業生を送り出し、同年4月に地域看護学専攻科を併設、本年4月には理学療法学科を新設するに至り、3学科を揃えた医療系短期大学として、大学の名称変更を迎えることができました。これも樋口理事長の大変な御努力とともに、皆様方の温かいご支援の賜物とこの紙面を借りて、教職員一同を代表して感謝の意を表させていただきます。

大学の発展に伴って、所帯が大きくなり、活動も多岐に亘るようになりましたので、大学関係者だけでなく、地域の方々、今後進学希望の方々、大学と共同研究を希望されている方々などに、広く情報を提供する必要を感じ、今回広報を目的とした定期刊行紙として「バス学園だより」を皆様のお手元にお届けすることになりました。

大学の経営、教育、研究面の現状と実績、学生生活の実情、卒業生の動向、教職員の紹介、今後の計画などを、ガラス張りにして報



告すると同時に、皆様からの大学に対する御希望、御協力のお申し出、御意見、忌憚のない御批判なども是非紙面に取り上げて行きたいと考えておりますので、FAX、手紙、E-MAILなど学園だより編集係までどしどしお申し出ください。

今後は、開かれた大学として看護・介護・保健・リハビリテーション・疾病予防、健康促進などにつき実際に役立つ実学的研究及び経営者、教職員、学生、卒業生一丸となって活発な実践活動が行われるよう努力するつもりであります。その趣旨にご賛同・御協力頂ける方々、地域の皆様との双方方向の情報交換に役立つ機関紙として、是非ともバス学園だよりを御利用下さるようお願い申し上げます。

看護学科

学科長 高木夕力子



私は、医療・保健・福祉の連携を目指し、また北毛地区の人材育成を掲げ、ほたか会をバックに壮大なプロジェクトの発展を夢見て、その理想の実現の一翼を担いたいと誓いました。

まずチームワークに優れた教職員と共に、短期大学を大学に昇格させ、特色ある教育を実践することが必要である。と同時に学生に選ばれる大学にしたいと思えます。皆様のご指導とご支援をお願い申し上げます。



基礎看護学 教授 鹿村 真理子



社会福祉制度と生活者の健康 教授 内藤 和美



疾病の成り立ちと回復の促進 教授 武田 淳史



小児看護学 助教 中垣 紀子



成人看護学 助教 矢嶋 和江



老年看護学 助教 平井 靖子



解剖生理学 助教 澤田 只夫



英語 助教 河原崎 やす子



基礎看護学 助教 臨床担当 治田 ヒロ子



母性看護学 講師 石沢 教子



新制学他 講師 小林 圭一



成人看護学 講師 北林 司



成人看護学 講師 秋山 美加



助手 高橋 ゆかり



助手 関 妙子



助手 飯塚 美子

パースの看護精神は、
「個性・互助・熱意」。



PESSOA
[個性]

ASSISTENCIA
[互助]

ZELO
[熱意]



理学療法学科は、本年4月に増
学科されましたが、リハビリテー
ション医療の一翼を担う職種とし
て、高齢者社会を迎える中で、理
学療法的重要性が増しています。
本学科は、病院でのリハビリテー
ション活躍はもちろんのこと、特
に、地域リハビリテーションで活
躍できる理学療法士を目指して行
きたいと考えています。

理学療法学科

学科長 松澤 正



発達臨床心理学
講師
北川 公路



物理療法学
講師
目黒 力



生物心理学
日常生活動作学
講師
柴田 雅祥



健康学
助教授
近藤 照彦



理学療法心理学
運動動作学
助教授
富田 浩



臨床運動学
呼吸循環系疾患学
助教授
江口 勝彦



人間発達学
小児科学
教授
青山 正征



医療と医学
教授
栗田 昌裕



地域看護学専攻科は今年で2年
目を迎え、23名の学生は3年間の
看護基礎教育を終え、更に保健師
を目指して1年間の学習を積んで
います。保健師は地域の人々の健
康と生活を守るために、看護の専
門性を活かし、他の専門職、地域
の人々、行政に携わる人々とのチ
ームワークで活動します。
地域の人々とのコミュニケーション
を大切に、個人や家族、地域
のニーズに応えられる保健師の養

地域看護学専攻科

科長 梅林 奎子



成を目指しています。
卒業生は病院、市町村保健セン
ター、学校、事業所等、それぞ
れで人々の健康と生活を願って
少しでもお役に立つよう頑張っ
ています。



助手
小林 和成

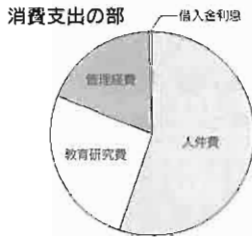
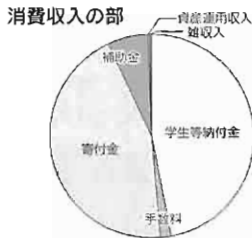


地域看護学
講師
小林 亜由美



地域看護学
助教授
矢島 まさえ

平成13年度決算・平成14年度予算書について



	平成13年度消費収支計算書		%	平成14年度消費収支予算書		%
	金額	金額		金額	金額	
消費収入の部	学生等納付金	335,700,000	47.16	学生等納付金	409,750,000	89.50
	手数料	11,719,100	1.65	手数料	11,474,000	2.51
	寄付金	315,490,000	44.32	寄付金	0	
	補助金	46,893,765	6.59	補助金	36,000,000	7.86
	資産運用収入	898,210	0.13	資産運用収入	600,000	0.13
	雑収入	1,190,531	0.15	雑収入		
	帰属収入合計	711,881,606	100.00	帰属収入合計	457,824,000	100.00
	基本金組入額	▲328,348,735		基本金組入額		
	消費収入計	383,532,870		消費収入計	457,824,000	
	消費支出の部	人件費	241,547,595	55.51	人件費	318,368,269
	教育研究費	112,320,093	25.81	教育研究費	99,078,000	19.60
	管理経費	80,010,067	18.39	管理経費	78,162,000	15.46
	借入金利息	1,237,231	0.29	借入金利息	0	
	予備費			予備費	10,000,000	1.97
	消費支出計	435,114,986	100.00	消費支出計	505,609,269	100.00
	当年度消費支出超過額	▲51,582,116		当年度消費支出超過額	▲47,785,269	
	前年度繰越消費収入超過額	8,875,812		前年度繰越消費収入超過額	269,511,113	
	翌年度繰越消費収入超過額	▲42,706,304		翌年度繰越消費収入超過額	221,725,844	

- 平成14年4月1日 学名変更(群馬パース看護短期大学より群馬パース学園短期大学に変更)
- 平成14年4月6日 理学療法学科の第1期生の入学式挙行
- 平成13年4月7日 群馬パース看護短期大学の第1期生の卒業式挙行
- 平成13年4月26日 地域看護学専攻科の第1期生の入学式挙行
- 平成13年12月20日 文部科学省に群馬パース看護短期大学の理学療法学科増設申請提出
- 平成14年2月21日 群馬パース看護短期大学の第5期生卒業式挙行(おさみさま)
- 平成14年4月1日 群馬パース看護短期大学のあさみさま10棟増設
- 平成13年3月4日 群馬パース看護短期大学の第4期生卒業式挙行(あさみさま)
- 平成12年12月21日 群馬パース看護短期大学の第3期生卒業式挙行(あさみさま)
- 平成12年8月22日 文部省から地域看護学専攻科(保健師)の設置認可を受ける
- 平成12年2月15日 複合施設美郷医学研究所の竣工式典挙行
- 平成12年7月30日 群馬パース看護短期大学の第3期生卒業式挙行(あさみさま)
- 平成11年2月23日 群馬パース看護短期大学の第2期生卒業式挙行(あさみさま)
- 平成11年4月11日 群馬パース看護短期大学の第1期生卒業式挙行(あさみさま)
- 平成10年4月7日 群馬パース看護短期大学の第1期生入学式挙行
- 平成10年3月17日 群馬パース看護短期大学の第1期生入学式挙行(あさみさま)
- 平成10年12月19日 文部省より短期大学設置認可、寄付行為認可を受ける
- 平成9年7月22日 文部省より準備財団法人の認可を受ける
- 平成8年6月14日 大蔵省より準備財団法人の認可を受ける
- 平成8年8月1日 群馬パース看護短期大学の設立準備室発足

学校法人群馬パース学園の沿革

What's かんべききん 神戸基金とは?

神戸基金は、学校法人群馬パース学園樋口達介理事長と神戸照子先生が設立したものです。

この基金は、神戸正雄先生(京都大学法学部長・経済学部長・関西大学学長)とその息子夫婦である神戸正一先生・照子先生の心を受け継ぎ、群馬パース学園短期大学の教育理念である「人間愛」と「献身の心」を具現する学生に対し、群馬パース学園短期大学での学習及び将来にわたる一層の研鑽を期待し、「神戸賞」を授与するものです。

群馬パース学園短期大学は、この教育理念を神戸正雄先生及び神戸照子先生の哲学に学び、平成10年群馬県高山村に誕生した大学です。樋口理事長が神戸照子先生と出会った昭和44年以来、当時24歳の樋口理事長が群馬県北毛の地で医療・福祉に携わり今日に至るまで、神戸先生は「ほたか会」の精神的支柱として、そして自らも福祉・医療・教育の実践者でもありました。

神戸照子先生は、神戸正雄先生から引き継がれた資産を全て神戸基金として寄贈され、群馬パース学園短期大学の礎を築きました。

平成14年度 受賞者	平成13年度 受賞者	平成12年度 受賞者	平成11年度 受賞者
優秀賞 3年・市川亜矢子 2年・吉松 孝志	優秀賞 3年・斉藤由美子 2年・市川亜矢子	優秀賞 3年・石田あずさ 2年・高橋由美子	優秀賞 2年・瀧 美知子 ・清水真由美 ・谷本加奈子
努力賞 3年・長尾 幸枝 ・宮川 典子	努力賞 3年・影山 朋美 ・武田 香奈 ・望月 里香 ・森岡えり子 ・石塚 真琴	努力賞 3年・及川 洋 ・木村 美香 ・小松みどり ・清水真由美 ・手塚 裕美	努力賞 2年・神山 倫美 ・辻 玲香 ・原園 智子 ・中川 静香 ・小松みどり ・加藤 奈穂
2年・山崎 恵理 ・坂本	2年・田中 亜樹 ・田村 貴恵 ・長尾 幸枝 ・堀口亜希子 ・斎藤 宏子	2年・今井 直樹 ・岩崎 次世 ・小野寺悦子 ・林 綾子 ・森岡えり子	

戴帽式 (H13-10-20)

緊張と喜びを胸に…



平成13年度 看護学科 卒業式

CAMPUS LIFE 広場

たどってみよう、
みんなの思い出…



平成13年度 地域看護学専攻科
卒業式

学園祭 (H13-10-20~21)



平成10年度 第1回生 入学式

うまき焼酎だか恋?



学長も焼鳥屋さんに変身!



大縄跳びに
挑戦!

スポーツ大会 (H14-5-25)



お便りお待ちしております

キャンパスにトンボが飛び交い、少しずつ秋の気配を感じるようになりました。あなたはこの季節をどのように楽しんでいらっしゃいますか?

秋というと、スポーツの秋、勉強の秋、芸術の秋、などと言われます。何をやるにも過ごしやすいからこそ、このように言い表されているのではないのでしょうか。

学生も秋の季節を元気に過ごしております。来たる10月5日、群馬県内の大学対抗スポーツ大会があり、学生有志が参加する予定です。

また、10月26・27日は学園祭が開催されます。学び得た知恵と知識と技術を披露しますので、皆様お誘いあわせのうえ是非お出かけください。そして、バスの秋をお楽しみいただけましたら幸いです。

皆様からのご意見・ご感想お待ちしております。

〒377-0702

群馬県吾妻郡高山村中山6859-251

TEL 0279-63-3366(代)

FAX 0279-63-3477

URL <http://www.paz.ac.jp/>

E-mail paz@paz.ac.jp

学事日程

(平成14年度)

- 4月 入学式・オリエンテーション
デイキャンプ・授業開始
神戸賞授与式
- 5月 スポーツ大会
- 7月 看護実習(2年生)・夏季休暇
理学実習(2年生)
- 8月 夏季休暇
- 9月 看護実習(1年生)
前期定期試験・後期授業開始
- 10月 学園祭
- 12月 創立記念日・看護研究発表会
冬季休暇
- 1月 冬季休暇・補習集中講義
- 2月 後期定期試験・スキー合宿
国家試験・同窓会
- 3月 卒業式・春季休暇

デイキャンプ

(H14-4-13)



はい、
ちーず!

